

オホーツク地域活力支援包括連携フォーラム



山岡部長から「各機関の調査研究成果を地域の皆さんに活用してもらいたい」と開会挨拶と趣旨説明がありました。



2月9日、網走開建と北見工業大学・東京農業大学・日本赤十字北海道看護大学の3大学による「オホーツク地域活力支援包括連携フォーラム」が網走市のオホーツク・文化交流センターで開催されました。各機関の調査・研究で得られた成果を地域に紹介することが狙いで、関係する技術者・研究者や市民ら約100名が参加し、幅広く知見を深めました。

研究テーマ

北見工業大学

- 「コンクリート長寿命化と維持補修」

日本赤十字北海道看護大学

- 「厳冬期避難所展開・宿泊演習2015」

東京農業大学

- 「網走管内における畑地灌漑の活用について」

治水課

- 「網走川下流部特殊堤に生じた変状の要因分析と対策について」

道路計画課

- 「道路利用者と連携した道路交通課題の把握と整備効果の分析」

土地改良情報対策官

- 「沿岸部の農業用コンクリート排水路補修における表面含浸工法の有用性について」

網走港湾事務所

- 「サロマ湖漁港(第2湖口地区)における橋梁整備について」

技術管理課

- 「厳冬期避難所演習2014報告」



質疑応答もありました。



発表の様子です。